

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	タキロンシーアイ(株) 網干工場 プレ	階数	地上3F
建設地	兵庫県たつの市御津町苅屋1161-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年7月1日
敷地面積	78,893 m <sup>2</sup>	作成者	昭和設計尾崎美保08624-28
建築面積	1,920 m <sup>2</sup>	確認日	2025年7月20日
延床面積	3,712 m <sup>2</sup>	確認者	昭和設計森雄-08872-28



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	2.2
光・視環境	2.2
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.0
耐用性	3.1
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	N.A.
自然エネ	4.0
設備システム効率化	3.2
効率的	3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合		特になし
1. 安定した品質、効率的な生産機能を持つ工場 2. 既存工場との連携、将来計画を想定した工場 3. 従業員が働きやすく、環境にも配慮した工場		
<b>Q1 室内環境</b> 生産工程のクリーンな環境を実現するため、室内の気密性、気流に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 生産機器へのユーティリティの冗長性を高める。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 海浜部に立地する工場として、塩害や卓越風に配慮し、施設・設備の耐久性を高める。
<b>LR1 エネルギー</b> 生産エリアは、高窓からの自然採光、ルーフファンによる重力換気、最適運転条件への対応、ユーティリティ供給の効率化などにより、省エネルギー化を図る。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器の採用し水資源保護に配慮。有害物質を含まない材料を使用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地南側の隣地は住宅であるため、騒音や振動に配慮した設備・ユーティリティ計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される